

長野オリンピックの裏話



塚田 佐 (長野クラブ・前長野市長)

こんばんは。今日は東日本大震災の為の街頭募金をされたとの事でご苦労様でした。

私も市長在職中に阪神大震災があつて、その日の夜中に神戸労災病院の看護師さんから自宅に電話がありました。「入院患者 500 人がいるけれど、水道、ガス、電気が止まって困っているが何とかして下さい」と言われ、どうして私に電話かと尋ねると、長野市出身の女性看護師さんからで、頼るところがないのでと夜中の 3 時に電話がありました。県からも消防局の職員を救援にと派遣要請があつて用意してありましたので、県経済連からは野菜、食物などをトラックで、あちらの警察と連絡をとって明朝出発しました。水は 10 トンが積めるタンク車が 3 台あり出発しました。支援体制が出来てからではなく、何しろ素早い支援が必要ですね。神戸労災病院からは大変喜ばれ感謝されました。余りメディアには載らなかったけれど(笑)。

2ヶ月くらい後には市民の皆さまからの募金などで 7 千万円ほど集まったので、小切手にして神戸市長に直接届けに行きました。建物も全部壊れるのではなく、弱い階が壊れるようで、神戸市役所は 7 階がやられておりました。長野は 3 階に市長室などがあり、旧庁舎は耐震構造が古いので 3 階が最初につぶれるのではないかと思う。新庁舎の方は耐震構造がしっかりしているので、そちらなら大丈夫ですが(笑)。電車に乗って見るとよく分かるけれど、ブルーシートがかかっているところに添って断層が直線に走っていました。

今回の東日本大震災は津波が大きくて大変だったけれど、その後、尾を引くのは原発ですね。放射能の影響などいろいろ出てくるので各種の支援が必要ですね。柏崎原発は長野まで直線距離で約 70 km なので、何かあれば長野も危ないですね。

神戸の時には世界は狭いと思いました。阪神大震災の後にオリンピックを控えていたので、この頃も

うメールのやり取りが出来たので、世界各国から「長野は大丈夫か？オリンピックは出来るのか？」と問い合わせが殺到しました。「長野は阪神から 300 km 以上も離れているので大丈夫」と答えたりしました。

ここで余りマスコミには取り上げられなかったオリンピックの裏話をしてみたいと思います。

日本国内では、長野・盛岡・山形・旭川の 4 市が競い合いましたが、最終的には長野が勝ちました。オリンピック招致関係のイベントなどに長野では子どもたちはあまり絡まなかったけれど、盛岡や山形などの子どもたちは何かの折には旗を振ったりしていたので、4 都市の子どもたちみんなにオリンピックを経験させたら喜ぶだろうと思っていたけれど決まるのは 1 つだけなので、もし長野に決まったら 4 都市の子供たちの交流をと考えて居りました。

オリンピックまで、まだ 10 年あつたので、毎年各都市から子どもたちを 20 人長野に来てもらって 3 泊 4 日で、交通費は各都市で持ち、宿泊費などは長野市で持ちました。スキーやスケートなどで親交を深め、最後はオリンピックの年に終わるようにして、とても喜ばれ作文集も作りました。

僕もびっくりしたけれど、当時世界では長野の知名度はゼロでしたね(笑)。井の中の蛙でしたね。

この時は長野とアメリカのソルトレークシティとスエーデンのエステルスンド、イタリアのアオスタとスペインのハカ、ソ連はソチでした。ソチはこの時は準備不足で降り今度やりますね。強敵はアメリカのソルトレークシティとスエーデンのエステルスンドで、いよいよ長野に決まり、国際オリンピック委員会の会合があると IOC 委員が約 100 人、マスコミ関係者、スポーツ関係者が 5~600 人が集まるので、みんなに長野をアピールすると「長野市は札幌市の近くですか？」(笑)と聞かれて札幌市は 26 年前に冬のオリンピックをやっているので、みんな知っているが長野は分からないので、日本地図を用意して「ここでやる」と言うと怪訝そうな顔をして「そんな南でやるのか？」と言われ、日本人

にしたら長野は雪が降って寒いところと常識ですが、地図を見ると分かりますが、長野市の緯度はアフリカのモロッコと同じで、ヨーロッパの人にするると、モロッコは雪が無いと言うので、それでは長野をどのように説明すれば良いかと考えて「長野は3,000mクラスの日本アルプスという山々に囲まれていて、シベリヤ方面から来る北風が雪を運んで来るので、有名な豪雪地帯だ」と話して納得して貰った。このように長野は知られていないので、中には「ああ！名古屋ですか？」その前の年に名古屋とソウルが夏のオリンピックを争って名古屋が負けたので、今度は名古屋が冬のオリンピックをやると勘違いをしたようです。

最初PRに行った都市はフランスのアルベールビルというところで、国際的には有名なリゾート都市でアルベールビルは伊藤みどりさんがメダルを取ったところですね。

イギリスのバーギンガムでは「東京」に決まる最後のお願いだから同じホテルに泊まっていた約100人のIOC委員に最後のお願いをしました。あの頃は立候補都市へ視察を下さいという方針で、長野にも大勢の人たちが見えて駅前や市役所前で歓迎されて、夫人同伴の委員は奥さんがヒロインになったようで気持ち良かったようですよ（笑）。

それからローマで会議があった時、IOCの役員が二人いて、一人はローマ市長で、もう一人はステファニーさんといって往年のテニスの名選手で横浜へは汽船で来たというので、もうお爺さんですね。食事をしながらステファニーさんに「あなたはもうベテランで何回も開催都市に投票しているけれど、どういう基準で選んで投票したのか？」と聞いたら「そんなの簡単、ワイフの言うとおりにすれば良いのでそうすれば間違いない（笑）」ということは、気持ち良く迎えてくれる所、ウエルカムなところ、長野はわりともてなしの心はあるので、長野は気持ちが良いところであったのではと思います。そこで招致委員の人に頼んで奥さん方の誕生日を調べてもらい、誕生日にはメッセージと花束を贈るように手配し、ある程度効果があったのでは（笑）。

いよいよイギリスのバーギンガムで決まる時、何度か会っているIOC委員はだいたい目を見れば分かり、目をそらす人はだめですね……。IOC副会長のセネガルのケム・ムバイさんは国際司法裁判所の判事の方でした。このセネガルのケム・ムバイさんは僕とは気持ちが通じて懇意にしており、よく話しましたが、最後の日の夜8時ごろホテルロビーで会いましたので、長野への投票依頼をしたところ、僕の手を取って「SAME・COLOR、君は黄色人種、僕は黒色人種で勿論応援する」と言われ、しっかり握手をしました。IOCの委員でもあった英国のアン王女にも何回もお会いしました。

どうして長野に決まったかということ、まだ日本は経済も良かったので、バブルが弾けそうではあったけれど、まだ良かった時代で、当時日本の経済は世界一だと言われておりました。もう一つオリンピックはやっぱり世界中のオリンピックだから、世界中を回そうという気持ちがあるのですね。26年ぶりの日本の冬季オリンピックでした。カナダのカルガリーでやって、フランスのアルベールビルで開催してノルウェーのリレハンメルで、今度はアジアという順番も良かったですね。それから長野でやろうと県民が一体になって盛り上がったことでしょう。昔から松本と長野は仲が悪いと言われていたが松本の皆さんも積極的に協力してくれ、全県的に一体になりました。

長野冬季オリンピックの開催により、有形・無形の資産が蓄積されました。

今は新幹線と高速道路が通っていますが、それはオリンピックが来るか来ないかで新幹線と高速が通るか通らないかの瀬戸際のことであって、気持ちが一本になったということもありました。長野市内だけでも道路が約100km新設・改良し、白馬へも新しい道路が出来ました。経済効果も全部で約1兆5千億円の投資で約5兆円の経済波及効果を上げました。これは目に見える効果ですね。これらはオリンピックがなければ出来なかった事で、当時の橋本大蔵大臣との約束で実現しました。大蔵省と運輸省（当時）と自民党で正式な文章にしておきました。

『北陸新幹線の形式は長野オリンピックが決まっ
てから決める』と。

無形の効果は子どもたちの交流でワンスクー
ル・ワンカントリー（一校一国運動）プログラムで
すね。これは広島でアジア大会があった時、広島で
は一公民館とアジアの国の一つと交流をさせてい
ました。これはいいなあ！と思っていたが、ノルウ
ェーなどのオリンピックを見に行っても何処も子
どもたちが一生懸命に目を輝かせて参加している
ので、長野でも何か子どもたちに感動を与えられ
るようなことがということで、一校一国運動をやっ
たがこれは高い評価をもらいました。今は長野国際親
善クラブの小出さんが民間で一生懸命にやって下
さっているので続いています。これは永続させよう
と1億5千万円くらいの基金を積んでおいたので、
毎年1千万円ぐらい使ってもまだ大分残っている
ようです。

長野オリンピックでは沢山のの人にボランティア
活動をして貰ったので、あれから長野ではボランテ
ィア活動が盛んになったと思います。これらは無形
の資産です。それから当時余りマスコミには取り
上げられなかったけれど、活躍したオリンピック選
手のテレフォンカードを大分販売して、その収益金
で発展途上国の子どもたちを助けようという事で
やり、清水選手が金メダルを取り、その後、里谷選
手が飯綱で金メダルを取って、あのモーグルのコブ
は市の職員が作ったのですが、当時誰も作ったこと
などなかったの、里谷多恵さんが「こうして、こ
うして」と言われ、その通りに作ってそれが良かった
のかな？（笑）その後4人のジャンプが金メダル
だったのでテレフォンカードの売り上げがパーッ
と広がり、最終的には5億円くらいの収益で、20
数カ国にユニセフを通してプレゼントする事が出
来ました。

僕もサラエボへ届けに行っただけで、学校が内戦
で破壊されてピアノがないということで喜ばれ、中
国も現在は世界の経済大国になっているけれど、当
時はまだまだで学校などの建設に協力して感謝さ

れました。そんなことで結構この収益金で子どもた
ちのために有効に活用できてよかったです。

白馬のジャンプで日本が優勝した時に天皇皇后
両陛下が来られご覧になられて、結果がすぐ発表さ
れなく、しばらくして優勝のアナウンスがあり、決
まった瞬間には美智子皇后さまは大変喜ばれてお
られました。

また美智子皇后さまは志賀高原でオリンピック
道路の為に切った木でオカリナを作ったそうです
が「今もありますか」と聞かれ、オカリナをお届け
したところ、大変喜んでいただきました。今は懐か
しい思い出です。こどもたちの一校一国運動とアス
ペンミュージックフェスティバルも素晴らしいとご
評価いただきました。

長野は招致活動費20億円で成功したので効率が
良いのでは。先般の東京は150億円で招致失敗して
います。最後に長野五輪の収益金は50億円の黒字
となりました。黒字と赤字は大違いで、赤字だと大
変だが50億円の利益があったので良かったが、こ
れはすべてドル計算でした。

閉会式の日レートで決済することになってい
たので、閉会式の時の為替レートで50億円の利益
になったわけです。とにかく当時のテレビ放映権料
は1円で2億5千万円くらい違う。1円の円高にな
ると2億5千万円の損。2円高で5億。円安になれ
ば黒字になるという、僕は毎日テレビを見て今日は
1円安い…儲かった！今日は損したと毎日貿易会社
の社長の心境でした（笑）。為替というものは自分
の努力以外のところで決まってしまうので大変で
す。

最後に県と市で補助していた金額を分けようか
という話にもなりましたが、折角黒字になったのだ
から基金を作って10年くらいスポーツ振興などに
使えればと基金にして12~3年もっているようで
す。今年使い切りました。

裏話も含めてお話をさせて頂きました。ご静聴あ
りがとうございました。

（長野クラブ:2011年5月例会卓話）